

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 22 日(金) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	黒沢まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	西田清久、村木勝也、岡山令子		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・H29 の豪雨災害の時、自主防・消防団が機能し、公民館に避難が出来た。広域農道も機能した。 ・三隅独自のルールで消防団員が避難所運営をすることになっているが、鍵開け担当も含めスタンダードか三隅方式か良い方にルールを統一してはどうか。 ・避難所運営は、消防団員と切り離してほしい。 ・矢原地区は、三隅か黒沢か旧区割りが残っている。 ・黒沢の消防車庫は老朽化しているが、建て替えが先延ばしになっている。 ・消防団員が減少しているが、若い人の誘い方をどうしたらよいか。 ・要支援者は、民生委員・福祉委員がチームとして連携しており、消防も一緒にリストを把握している。 ・独居高齢者等は、日頃から弁当配布等により見守り活動を行っている。 ・黒沢地区は、通信環境の良くないところが多い。 ・各避難所にファックスがあれば、有事の際便利だ。		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・浜田市の少子化について危惧している ・経済的余裕があれば子どもをもっと生みたかったとの声 ・子どもに返って来て欲しい、出て行って欲しくないと思っても働き場所がない ・製造業だけでなく、リモートワークなどの新しい働き方をふまえた企業誘致を行えないのか		

	【産業建設委員会】100 年先に残したい浜田の食 ・京風の角寿司 ・川魚(鮎、カニ、うなぎ等)特に「下りうなぎ」が美味しい。 このためには、「三隅川の環境整備(河原の復活(浚渫)、水質管理等)」と「川で遊ぶ環境整備(放流助成、安全な遊び場、川漁協の支援)」が必要である。今回のテーマから、川を守ることは、食文化の伝承をスタートとして、川の防災や泳ぐことでの命の守り方も学べる。自然環境を整えることからうなぎ、鮎が戻ってくる川になる。いろいろな生物が宿る川になる。川を守れば、森林を考え、海を考える。防災・水の恐ろしさ・生物の生態等教育の場にもなる。川魚の料理を100 年先に残すためには、川で大人が遊び、子どもがそれを見て、真似る。そのためには、三隅川の環境整備、安全な遊ぶ場所(カッパランドの整備)作りが大切である。 ・話の延長には、「矢原川ダム」の早期完成ももちろんつながっている。 ・ビスケットてんぷら、干し柿のてんぷら/今度まちづくりセンターで昔の食べ物復活事業をやることとなった。
自由意見	【総務委員会】 ・近年トクリュウの様な犯罪グループの強盗事件などが頻発しているので、防犯カメラを増設すべきではないか。 【文教厚生委員会】 ・江津市はゴミ袋が二種類で出すゴミによって印を付けて出す方式になっている。浜田市は何種類もゴミ袋があるので、購入するのに負担感を感じる。 ・自治会に入っていない人のゴミステーションの利用有無についての判断について迷う。 ・ゴミステーションに居住地域外からのゴミの持ち込みがある。防ぎようがないので困っている。

	【産業建設委員会】 ・市道、県道の支障木の伐採。特に電線の側の竹林においては、雪や倒木で断線の恐れがある。また、避難道路を塞ぐことも現実にあった。中山間地域の復旧に係る時間とその影響を考えれば「事前に伐採」をすることを考えるべき。 ・三隅益田道路の開通で、三隅を通る車が激減した。三隅を目的としたまちになるよう対策が官民地域が一緒になって考える必要である。 ・三隅川のあらゆる面からの環境整備、三隅川を活かしたまちづくり計画を官民地域で考えるべき(再掲)
--	--

令和8年6月1日 岡山 令子